

PDF1000個を用いたAcrobat Proの ユーザビリティ調査

明治大学 菊池研究室 4年

清水 雄太

研究背景

電子文書の偽造に対して電子署名が有効である。

Acrobat Proを利用することによりPDFに電子署名を行うことができる。

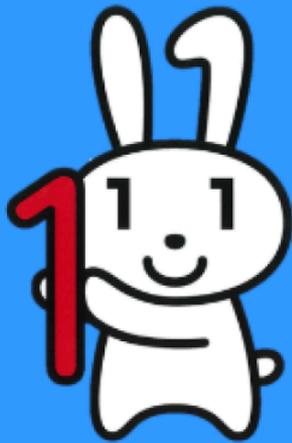
研究目的

- 目的・・・PDFの署名、検証を行い、Acrobat Proのユーザビリティを評価する
- 方法・・・ワード「官公庁」、ファイルタイプPDFで検索をかけたPDF1000個の署名率を調査する

PDFの例

はじめてのマイナンバーガイドライン (事業者編)

～マイナンバーガイドラインを読む前に～



特定個人情報保護委員会事務局



国土交通省

富山河川国道事務所

記者発表資料

平成28年10月27日
配布：県政記者クラブ
扱い：配布後解禁

庄川の河川敷内で伐採した樹木を無償提供します

富山河川国道事務所では、庄川の護岸工事箇所において伐採した樹木を無償で提供します。薪燃料や園芸用等、自家消費に使用される方を対象とします。

販売等の営利目的の方はご遠慮下さい。申込みは不要です。

樹木の引き取りにあたっては次のとおりご注意願います。

【注意事項】

1. 申し込みの必要はありません。配布開始時間になりましたら、現地係員の指示に従ってください。ただし、多くの方が持ち帰れるよう、持ち帰り量は1回あたり20本までとします。
2. 対象は自家消費される方に限定させていただき、販売や販売目的の譲渡を前提とする方はお断りします。
3. 持ち帰りにおいては、堤防天端道路、河川敷等の河川利用者、他の持ち帰り者へ危害を及ぼさないようご注意願います。万一、危害等を及ぼした時は自己責任となります。第三者に危害を及ぼした場合、苦情等を受けた場合は速やかに、担当出張所へ申し出て下さい
4. 提供開始日：平成28年10月29日（土）8:30～

企業経営のためのサイバーセキュリティの考え方（1）

企業が自発的に行うサイバーセキュリティの取組が促進されるよう、企業経営のためのサイバーセキュリティに係る基本的考え方とともに、経営層に期待される“認識”や経営戦略を企画する人材層に向けた実装のためのツールを示す。

※普及啓発・人材育成専門調査会の下に設置された、「セキュリティマインドを持った企業経営ワーキンググループ」（主査：林紘一郎 情報セキュリティ大学院大学教授）を通じ、検討を実施。

基本方針

ーサイバーセキュリティは、より積極的な経営への「投資」へー

グローバルな競争環境の変化

- ITの発展によるビジネスの変革が、消費者向けのビジネスから企業間取引へと拡大
- サイバー空間と実空間の融合がさらに進み、チャンスもリスクも一層増大

サイバーセキュリティをやむを得ない「費用」でなく、積極的な経営への「投資」と位置づけ、企業としての「挑戦」と、それに付随する「責任」として取り組むことが期待される

I. 基本的考え方

二つの基本的認識

<①挑戦>

サイバーセキュリティは、利益を生み出し、ビジネスモデルを革新するものであり、新しい製品やサービスを創造するための戦略の一環として考えていく必要がある。

<②責任>

全てがつながる社会において、サイバーセキュリティに取り組むことは社会的な要求・要請であり、自社のみならず社会全体の発展にも寄与することとなる。

三つの留意事項

<①情報発信による社会的評価の向上>

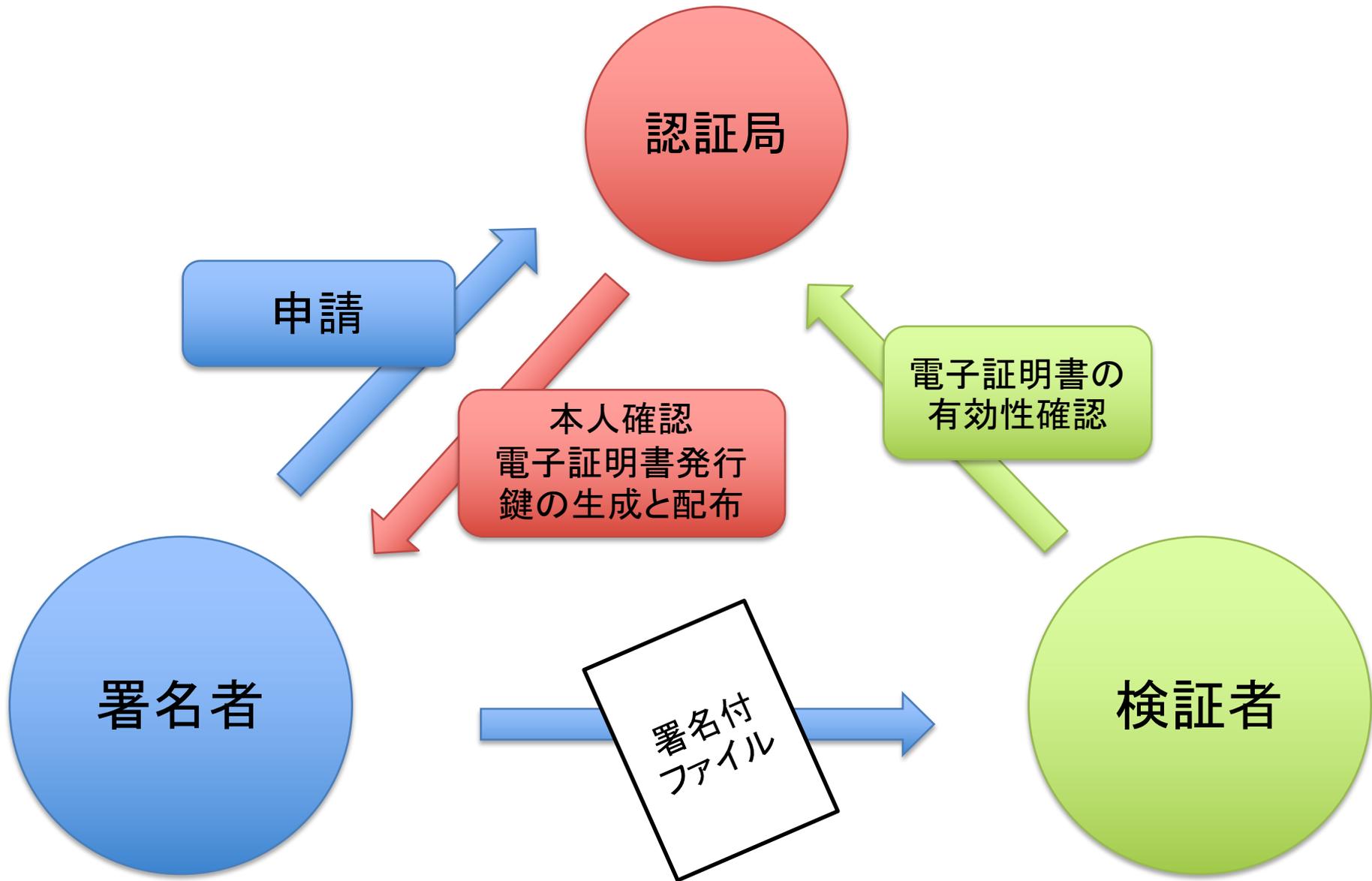
- 「セキュリティ品質」を高め、品質向上に有効な経営基盤の一つとしてセキュリティ対策を位置付けることで企業価値を高めることが必要。
- そのような取組に係る姿勢や方針を情報発信することが重要。

<②リスクの一項目としてのサイバーセキュリティ>

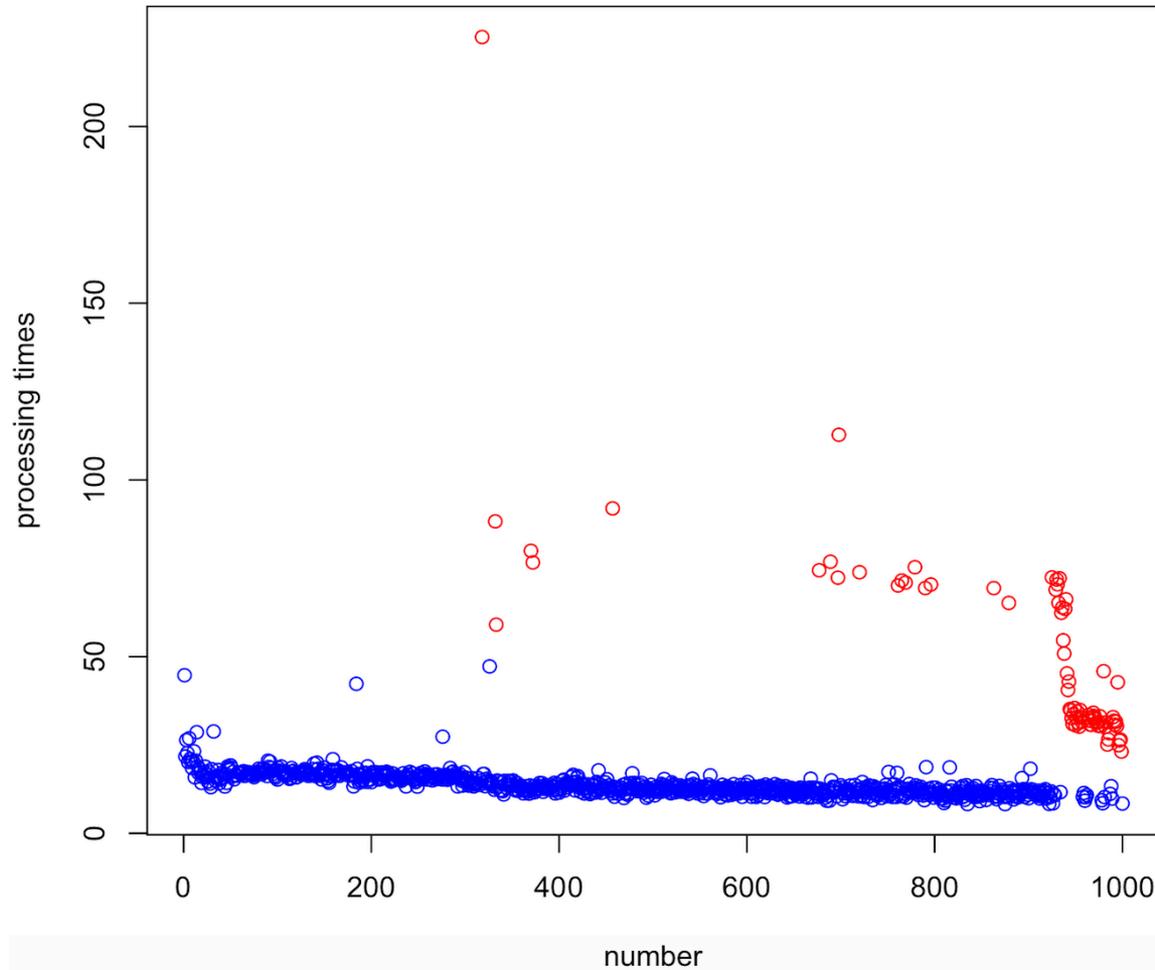
- 提供する機能やサービスを全うする（機能保証）という観点から、リスクの一項目としてのサイバーセキュリティの視点も踏まえ、リスクを分析し、総合的に判断。
- 経営層のリーダーシップが必要。

<③サプライチェーン全体でのサイバーセキュリティの確保>

- サプライチェーンの一部の対策が不十分な場合でも、自社の重要情報が流出するおそれあり。
- 一企業のみでの対策には限界があるため、関係者間での情報共有活動への参加等が必要。



PDFファイル1000個の検証



まとめ

署名は初心者でも扱いやすかった。
検証はロード時間が長いと感じた。